

予算特集	2・3
引越シーズンに市民課など窓口を土曜日も開設	4
環境センターがISO14001の認証を取得しました	5
第89回親子音楽会	8
乳幼児のBCG予防接種方法が変わります	9
「心のバリアを超えて」第2回	10
三鷹ネットワーク大学(仮称)プレ開講講座	11

平成
17年度
予算案

一般会計571億6,377万円

前年度比
実質4.2%の増

「市制施行55周年」を新たな飛躍の契機として

平成17年度の市の予算案が、2月28日から始まった市議会定例会で審議されています。

新年度予算は、一般会計が571億6,377万円、前年度予算比3.7%の減となりました。前年度予算では、住民税等減税補てん債の借換えに伴う重複計上が45億4,000万円ありますので、これを除いた実質的な比較では4.2%の増となります。

各特別会計を合わせた予算総額は998億7,128万8千円で、前年度比で1.0%の増となりますが、前述した重複分を除くと、実質5.9%の増となります。

こうした増は、建設事業費や社会保障関係費の増などによるものです。

平成17年度の市税収入は、税制改正などの影響により前年度予算比1.0%増を見込んでいます。

厳しい財政状況が続く中ですが、現状の課題を適切に把握し、「選択と集中」により限られた財源で最大の効果を得られるよう、積極的に事業展開を図っていきます。

清原市長の施政方針と予算の概要を紹介します。

「平成17年度施政方針・予算概要」の冊子は相談・情報センター(市役所2階) ☎ 内線2215で1冊200円で販売しています。

⇒ 財政課 ☎ 内線2124



安全安心のまちづくりは最重要課題の一つ

新年度の施政方針

昨年、国内においては台風や新潟県中越地震などの大きな災害が起こるとともに、海外でもインド洋スマトラ沖地震による大津波によって未曾有の大きな被害がもたらされるなど、「自然の猛威」の恐ろしさを改めて痛感させられた年でした。また、国内の経済についても、国は「長い低迷から脱し、成長の姿が見え始めた」と表明しているものの、景気回復の実感を未だ得られないだけでなく、地域における雇用環境も依然として厳しい状態が続いています。

このような中で、市民の安全を守り、まちの活力を高めることにより、「安心して、いきいきと暮らせるまち」を実現することの重要性を、私は改めて強く感じています。

平成17年・西暦2005年は、「戦後60年」の年、また、「市制施行55周年」の年という節目の年にあたります。さらにこの年度は、昨年からの取り組みを行っている第3次基本計画の改定、行財政改革アクションプラン2010の策定、そして自治基本条例(仮称)の制定という、「3つの改革の柱」の総仕上げを行うとともに、それらを着実に前進させる重要な年です。

これまで市民の皆さんとともに進めてきた三鷹市の協働のまちづくりについては、昨年は、日本経済新聞社等による行政革新調査で前回に引き続いて第1位になるとともに、今年の1月にはWTA 世界レポート連合という国際的な組織から、情報都市づくりの分野で三鷹市が世界の「トップ7」に選ばれるなど高い評価をいただくことができました。私としては、「このような評価を市民の皆さんとともに喜びつつも、今後も継続的に改革・改善を積み重ね、社会経済状況の変化や市民の皆さんのご期待やニーズに迅速かつ的確に対応するために組織能力の向上に努めたいと考えています。つまり、私たちは常に謙虚に学び、改革・改善に挑戦する「学習する組織」として、現在の課題を直視し、その課題の解決方向を明らかにして、将来に向けた優れた活動を創造していくことをさらに求められているということです。

第3次基本計画の改定においては、市民の皆さんから



清原慶子

三鷹市長

寄せられたご意見を踏まえ、従前の4つの最重要プロジェクトである、「バリアフリーのまちづくりプロジェクト」、「子ども・子育て支援プロジェクト」、「協働のまちづくりプロジェクト」、「E-T活用プロジェクト」に、新たに「安全安心のまちづくりプロジェクト」と「地域ケア推進プロジェクト」の2つを加えて、「6つの最重要プロジェクト」を設定し、「選択」と「集中」による経営資源の重点化を図りました。台風や地震などの大きな自然災害や全国で相次ぐ凶悪事件の発生、そして子どもや高齢者をめぐる様々な問題の進行という昨今の社会状況を鑑みると、これらの最重要プロジェクトを「選択」する意義を確信するとともに、改めてこれらの課題の重要性を痛感いたします。今を生きる人々が、将来にわたって安心して、いきいきと自立して暮らせる実感できる地域社会を育むことが、次世代を担う子どもを生み育てたいと思う環境を創ることにつながります。そして、それが自治の原点である地域への愛情を育むのだと思います。今こそ三鷹市は、世界への視野を持ちながら、市民の皆さんと共に知恵を絞り汗を流す協働をおし、「地域への愛情、すなわち「三鷹愛」を育み、「安心して、いきいきと暮らせるまち・三鷹」を創っていききたいと思ひます。

本年度は、文字どおり、こうした協働のプロセスによって、安全安心パトロールの拡充や地域ケアの支援体制の確立などに取り組みます。また、子育てと教育環境の整備を図るために、保育園等の子育て支援施設を整備するとともに、小・中・一貫教育校の開設に向けた研究や第一小学校のスーパリーニョール事業などを進めます。

また、第3次基本計画の推進においては、どの課題も市民の皆さんとの協働・連携が不可欠ですが、「民学産公」の拠点として、また、三鷹のまちの活力の再生とより高度な生涯学習の機会を提供するために、三鷹駅南口第12地区協同ビル内に三鷹ネットワーク大学「インキュベート施設」(仮称)を開設します。

「市制施行55周年」を迎えるにあたり、11月には「みたか自治シンポジウム」(仮称)を開催し、本年度に議会提案を予定している自治基本条例(仮称)の課題も踏まえて、これからの三鷹市の自治の課題と展望について、市民の皆さんと共に考えていきたいと思います。

「市制施行55周年」を新たな飛躍の契機として、更なる成果を生み出し、将来に向けて優れた活動を創造し続ける自治体を目指します。そして、市民の皆さんと目標を共有し、責任を担い合う協働のまちづくりを進めることにより、協働・感動・躍動が息づく「輝くまち三鷹」が皆さんが愛する三鷹のまちを創っていききたいと思ひます。

関連記事掲載

2・3面

を中心に と暮らせるまち・三鷹

- 大沢五丁目地区公会堂（仮称）の整備.....50,563,000円
- 井の頭コミュニティセンターの新館開設.....78,990,000円
- 市民協働センターの運営.....10,502,000円
- コミュニティ活動の新たな展開に向けた調査・検討.....1,000,000円
- 新川丸池公園（第二期）の整備.....244,138,000円

ITの活用

市民に便利な電子自治体への具体的な取り組みを進めます。情報セキュリティの一層の徹底を図るとともに、更なる情報発信に努めます。さらに、世界の情報都市トップ7という評価を市民に還元できる施策に努めます。

世界レポート連合会場（ホノルル）でスピーチする清原慶子市長



- 市議会本会議のインターネット配信.....3,150,000円
- 基幹系情報システムの再構築.....419,355,000円
- 電子申請等の共同運営.....8,754,000円
- 情報セキュリティマネジメントシステム（ISMS）の運用.....34,464,000円
- 情報都市づくりに関する啓発事業の実施.....4,500,000円
- 戸籍事務のシステム化.....144,021,000円

そのほかの主要な施策

再開発、都市交通、環境を初めとしたさまざまな分野に取り組みます。

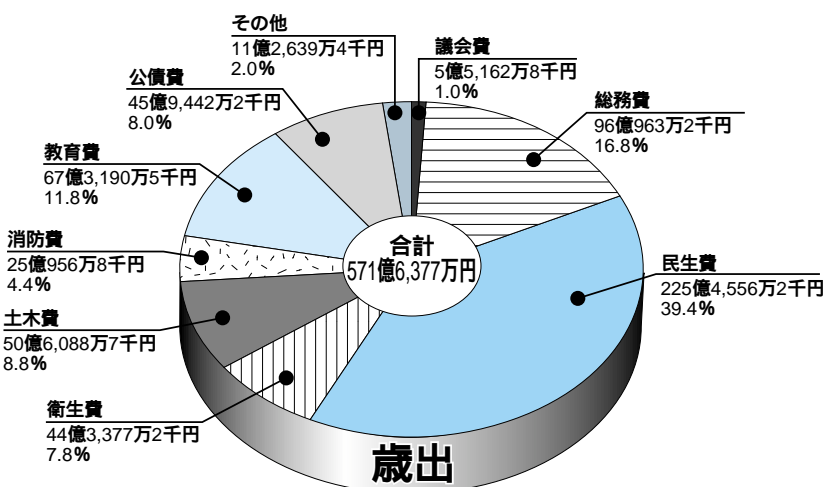
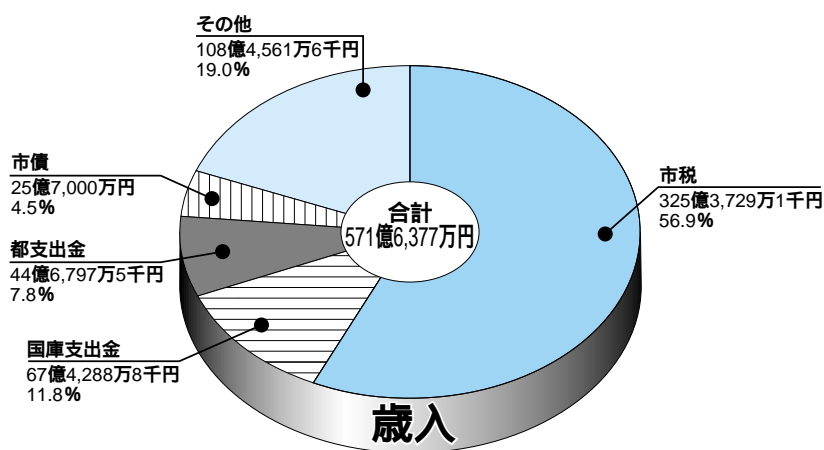


三鷹駅前広場の完成イメージ

- 男女平等参画条例（仮称）の制定.....139,000円
- 市民農園の増設.....10,707,000円
- 観光振興に関する調査・検討.....2,500,000円
- 三鷹駅南口地区市街地再開発事業への支援.....130,000,000円
- 大沢の里の整備.....147,193,000円
- すずかけ駐輪場の整備.....836,991,000円
- コミュニティバス運行の抜本的見直し.....33,955,000円
- 公共施設の省エネルギー対策の実施.....24,613,000円
- ISO14001認証取得の拡充.....8,356,000円
- 新ごみ処理施設整備基本計画の策定.....6,946,000円
- エコ野菜地域循環モデル事業の拡充.....7,310,000円
- 生活保護被保護者の就労支援事業の実施.....3,707,000円
- 国民健康保険被保険者証のカード化.....20,957,000円
- 乳がん・子宮がん検診の拡充.....73,869,000円
- 市制施行55周年・芸術文化振興財団創立10周年共催事業の実施.....3,228,000円
- 中近東文化センター展示事業の開催.....5,000,000円
- 中田喜直顕彰事業の実施.....3,000,000円
- 姉妹町矢吹町交流40周年記念事業の実施.....982,000円
- 三鷹駅前市政窓口（仮称）の開設及び窓口業務の拡充.....110,915,000円

平成17年度予算案の概要

一般会計歳入・歳出予算款別表



各会計別予算総括表

会計	(単位 千円)			
	平成17年度予算額	平成16年度予算額	増減	
一般会計	57,163,770	59,381,167	2,217,397	3.7%
国民健康保険事業特別会計	13,365,782	(54,841,167)	(2,322,603)	(4.2%)
下水道事業特別会計	4,564,533	12,736,583	629,199	4.9%
再開発事業特別会計	1,662,873	3,038,633	1,525,900	50.2%
老人医療特別会計	1,666,619	1,666,619	3,746	0.2%
老人保健施設事業特別会計	12,200,590	11,930,036	270,554	2.3%
介護保険事業特別会計	410,290	385,628	24,662	6.4%
受託水道事業特別会計	7,710,790	7,136,491	574,299	8.0%
受託水道事業特別会計	2,792,660	2,601,339	191,321	7.4%
総計	99,871,288	98,876,496	994,792	1.0%
		(94,336,496)	(5,534,792)	(5.9%)
純計	93,475,137	92,999,384	475,753	0.5%
		(88,459,384)	(5,015,753)	(5.7%)

()内の表記は、住民税等減税補てん債の借換えに伴う重複経理を除いた数値です。「純計」とは、会計間の重複（繰出名・繰入金）を控除した額です。

三鷹市土地開発公社事業

平成17年度予定事業		平成16年度予定事業		(単位 千円)	
事項	事業費	事項	事業費	増減	
連雀中央公園用地取得事業、その他公共用地取得事業	1,129,393	再開発事業用地取得事業、北野公園用地取得事業、その他公共用地取得事業	2,073,446	944,053	45.5%

一般会計及び市税当初予算額の推移

	(単位 百万円)										
	8年度	9年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	
予算額	56,501	67,569	57,220	56,137	54,945	55,848	56,419	54,602	59,381	57,164	
伸び率	5.2%	19.6%	15.3%	1.9%	2.1%	1.6%	1.0%	3.2%	8.8%	3.7%	
		(1.9%)	(0.6%)					(0.4%)	(4.2%)		
市税	34,122	34,563	34,828	33,001	32,529	32,913	32,253	32,308	32,207	32,537	
伸び率	0.4%	1.3%	0.8%	5.2%	1.4%	1.2%	2.0%	0.2%	0.3%	1.0%	

平成9、10年度の()内の表記は、総合スポーツセンター（仮称）用地関連の本債切替に伴う重複経理を除いた数値です。

平成15年度の予算額は、当初予算を骨格予算として計上したため、6月補正後の予算額です。

平成16、17年度の()内の表記は、住民税等減税補てん債の借換えに伴う重複経理を除いた数値です。

清原市長の施政方針、平成17年度予算のくわしい内容は三鷹市ホームページでご覧いただけます。



6つの最重点プロジェクト 「安心して、いきいき」

平成17年度予算は、市の「市政運営の基本的な考え方」(1)地域主権の確立に向けた市政運営、(2)第3次基本計画(改定)の推進、(3)行財政改革の推進と財政の健全性の維持、という3点に基づいて編成されました。

基本計画(改定)では、「安全安心のまちづくり」、「地域ケアの推進」、「バリアフリーのまちづくり」、「子ども・子育て支援」、「協働のまちづくり」、「ITの活用」を「6つの最重点課題」として設定しています。

行財政改革と財政の健全性を常に維持しつつ、「選択」と「集中」により「高環境・高福祉のまちづくり」の実現に引き続き努力していきます。

これら「6つの最重点課題」を中心に、平成17年度予算の主な事業を紹介します。

⇒ 財政課 ☎ 内線2124

安全安心のまちづくり

市民の安全を守る施策のさらなる強化に取り組みます。地域環境の改善に、防犯の視点であたるとともに防災対応も推進します。また、公共施設の環境対策を徹底して行います。



市民による安全安心パトロール

夜間安全安心パトロールの実施	7,065,000円
「子どもによるまち診断」の実施	1,335,000円
安全安心緊急情報対応マニュアルの作成	3,000,000円
公共施設アスベスト使用状況実態調査	35,451,000円
安全で安心な公園づくり	49,043,000円
防災行政用無線固定系の更新	200,918,000円
石綿セメント管管種変更工事の実施	350,313,000円

地域ケアの推進

高齢者、障がい者など、市民が地域で暮らし続けていける施策を行うとともに、緊急時の保護体制を強化します。介護施設の充実や、障がい者の自立にも取り組みます。



介護予防健康づくり事業

高齢者等地域ケアサポート推進モデル事業の実施	4,680,000円
精神障がい者の地域における自立生活支援の実施	7,580,000円
障がい者の就労支援方策の調査研究	1,120,000円
知的障がい者グループホームの設置の促進	1,000,000円
高齢者の緊急保護の実施	1,344,000円
健康長寿・地域介護予防ネットワークの検討	1,287,000円
第三期介護保険事業計画の策定	5,603,000円

バリアフリーのまちづくり

誰もが過ごしやすいように細やかな心配りでの施設改善を継続し、「心のバリアフリー」、「情報バリアフリー」も推進します。

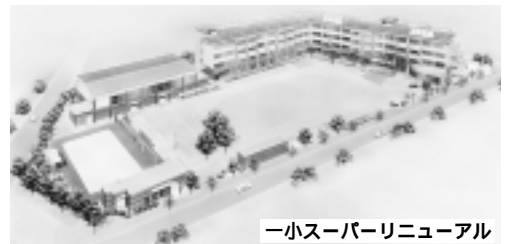


バリアフリー化された歩道

情報バリアフリーの推進	4,898,000円
地区公会堂のバリアフリー化の推進	3,072,000円
心のバリアフリー啓発活動の実施	1,034,000円
視覚障がい者音声案内システムの拡充	6,550,000円
堀合地下道及びむらさき橋通りのバリアフリー化	40,000,000円
「ベンチのある道づくり整備計画(仮称)」の策定	3,000,000円
三鷹駅南口駅前広場の整備	919,679,000円

子ども・子育て支援

子どもを育てる家庭を応援するための制度、施設の充実に、引き続き取り組みます。学校教育の充実に向けた取り組みを小・中一貫教育などさまざまに推進します。絵本館(仮称)についても、調査研究を実施します。



一小スーパーリニューアル

絵本館(仮称)整備に向けた調査・研究	880,000円
乳幼児医療費助成制度における所得制限の緩和	288,945,000円
東台小学童保育所の整備	62,000,000円
認証保育所の拡充	196,682,000円
家庭福祉員の拡充	17,037,000円
児童館等の日曜開館の実施	3,824,000円
保育園におけるアレルギー対応給食の提供	7,297,000円
大沢台保育園(仮称)の整備	109,253,000円
新生児訪問の拡充	8,121,000円
教育活動支援員の配置	13,905,000円
市立小・中一貫教育校の推進	11,357,000円
心身障がい学級の新設	29,000,000円
第一小学校スーパーリニューアル工事の実施	395,368,000円
私立幼稚園児保護者補助金(入園料)の拡充	41,070,000円
地域子どもクラブの拡充	7,973,000円

協働のまちづくり

コミュニティセンター、地区公会堂の当初整備目標を完了、新展開への調査を開始します。「あすのまち・三鷹」プロジェクトの成果を検証、三鷹ネットワーク大学[インキュベート施設](仮称)に継承します。「自治基本条例(仮称)」の普及・啓発を図ります。また、引き続き市民協働のまちづくりを推進します。



ネットワーク大学が入る三鷹駅南口第12地区協同ビル

プレ講座の様子



「あすのまち・三鷹」プロジェクトの推進	25,789,000円
自治基本条例(仮称)の普及・啓発	2,115,000円
「三鷹ネットワーク大学[インキュベート施設](仮称)」の設立	578,806,000円